

第3期神戸市教育振興基本計画

あす 明日につなげる 新・こうべ教育プラン

(令和2年度～令和5年度)



神戸市教育委員会

はじめに

「明日につなげる 新・こうべ教育プラン」は、神戸の教育における中期的なロードマップとなるものです。

「新学習指導要領」に新たに設けられた前文には、これからの学校には、教育基本法の目的及び目標の達成を目指しながら、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と示されています。

今の子供たちが大人になる頃には、技術革新やグローバル化、少子高齢化がさらに進み、一層予測困難な時代となると言われる中、いかに社会が変化しようと、神戸で育つ子供たちが、それぞれの個性と能力に応じて、自らの頭で考え、自ら行動し、たくましく生きる力を養い、社会を支え貢献する人間となって、豊かな人生・地域社会を切り拓いていけるよう、神戸市では「心豊かに たくましく生きる人間」を目指す人間像としながら、十年、二十年先も見据えて、教育の改善・充実を進めていかなければなりません。

一方、本市の教育行政は、度重なる不祥事により、子供たちや保護者、市民の皆様の信頼を失い、これを取り戻すことは容易ではありません。

神戸の子供たちの健やかな育成に向けて、教職員は目の前の子供たちへの指導・支援に、また、事務局等はその子供たちと向き合う教職員・学校への指導・支援に、神戸の教育にたずさわる者が、それぞれの持ち場で全力を尽くしていきます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちの日常の営みを根底から揺るがし、価値観や生活様式にも多大な影響を与えています。当感染症に限らず、今後さまざまに教育を取り巻く状況が変化しても、その状況をしっかりと見据え、安全な学習環境の確保を図りながら、最大限子供たちの学びの保障に取り組んでいきます。

「明日につなげる 新・こうべ教育プラン」の名称のとおり、安全・安心で楽しい学校を保護者や市民の皆様と共に築き、心豊かにたくましく生きる神戸の子供たちを育むことで、「一人一人の子供たちの輝く明日につなげる」とともに、「神戸の豊かな明日につなげる」ため、本計画に基づき、多方面にわたる教育施策を着実に推進していきます。

神戸の教育理念 「人は 人によって 人になる」

子供たちが健やかに成長していくためには、乳幼児期から惜しみなく愛情を注がれる環境が重要であり、家庭や養育者とのふれ合い、地域や社会とのつながりを通して、人に対する信頼感や豊かな情操、他人に対する思いやり、自尊心などが身に付いていきます。

また、学校教育においても、教師の的確な指導と個に応じた支援、また、子供同士の認め合い、助け合い、磨きあいといった関わり合いにより、自己有用感・自己肯定感が生まれ、個人の多様な能力の伸長が図られます。

子供は、大人へと成長していく過程において、家庭や地域、教師など多様な多くの人々と出会い、学びながら、人として磨かれていきます。また、その学びは大人になっても生涯続くものです。

こうしたことから、第3期神戸市教育振興基本計画においても、「人は 人によって 人になる」の理念の下、神戸の教育を推進していきます。

目指す人間像

「心豊かに たくましく生きる人間」

社会や環境の変化が一層激しさを増す中で、次代を担う子供が、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくためには、自他を尊重し、互いに知恵を出し合って困難な課題を解決していく力を育てていくことが重要です。

それには、「確かな学力」や「豊かな人間性」、「健康・体力」を身に付け、自ら学び、自ら考え、目標に向かってたくましく生きていく力が求められます。

これらを踏まえ、第3期神戸市教育振興基本計画においても「心豊かに たくましく生きる人間」を、神戸の教育が目指す人間像として掲げ、具体化した姿として以下の5項目を挙げることにします。

(1) 知・徳・体にわたる生きる力を身に付け、自ら学び、考え、行動する

変化の激しいこれからの社会を生き抜くため、「主体的・対話的で深い学び」を通して、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」をバランスよく身に付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動する。

(2) 互いの人権を尊重し、多様な人々と共に生きる

人の命を尊び、互いの個性や異なる文化、価値観を尊重し、助け合い、共に生きる。

(3) よりよい社会を築く一員となるための資質と自覚を高める

倫理観、規範意識、感謝の心等に加え、思考力、創造力といったよりよい社会を築く担い手となるための資質を身に付け、他者との協働に努め、社会の一員である自覚をもって行動する。

(4) 夢や志をもち、自ら目標を定め挑戦する

興味・関心を広げ、夢や志をもち、自ら目標を設定し、意欲的に取り組み、努力を重ねる。

(5) 豊かな国際性を身に付け、地域や国際社会の持続的な発展に貢献する

地域や神戸を愛する気持ちや、日本の伝統・文化への理解を基盤としながら、国際都市神戸の未来を担う豊かな国際性を身に付け、それを生かして地域や国際社会の持続的な発展に貢献する。

基本政策1 心豊かに たくましく生きる 神戸の子供を育む

重点事業1 確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、学びに向かう力・人間性等を涵養します。

- 方向性
- ◎「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進します。
 - ◎さらなる技術革新を前提とした「個別最適化された学び」への進展を見据えながら、個に応じた指導の充実を進めます。
 - ◎指導体制の充実や指導方法の改善等の支援を推進します。

重点事業2 豊かな心の育成

・道徳教育や体験活動、多様な表現活動等を通して、豊かな情操や創造性を涵養します。
・生命のかけがえのなさへの気付きや思いやりの心を培い、それらを家庭や学校、地域社会での営みにおいて生かす態度を養います。
・学校の教育活動全体を通じ、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養います。

- 方向性
- ◎自他の命を大切に教育や道徳教育、人権教育等を推進します。
 - ◎「夢や希望を育む学級・学校づくり」や「子供が支え合い高め合う学級・学校づくり」、「規範意識を育て豊かな人間性を育む学級・学校づくり」を進めます。

重点事業3 健やかな体の育成

生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための基礎としての健やかな体を育成します。

- 方向性
- ◎体力の向上や食育の推進、心身の健康の保持・増進に関する取組等を推進します。
 - ◎魅力があり、かつ持続可能な中学校部活動を推進します。

重点事業4 一人一人に応じたきめ細かな教育・支援の充実

子供一人一人の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する特別支援教育や、グローバル化によってますます増加が見込まれる帰国・外国人児童生徒等への日本語指導等、多様な観点からの教育的ニーズに対応した教育・支援を推進することで、一人一人の豊かな生活や自立・社会参加に寄与し、共生社会の実現につなげます。

- 方向性
- ◎特別支援教育においては、福祉との連携による切れ目ない支援の充実と教職員の資質・専門性の向上を推進します。
 - ◎特別支援学校においては、一人一人の発達に応じて自立に向けた取組を進めます。
 - ◎日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒や就学機会の提供を希望する学齢経過者など、多様な教育的ニーズに応じた支援を進めます。

重点事業5 人格形成の基礎となる幼児教育の質の向上

遊びや生活という直接的、具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育み、生きる力の基礎を培う幼児教育を推進します。

- 方向性
- ◎公・私立の幼稚園・認定こども園・保育所（公私幼保）によって進められている神戸全体の幼児教育の質の向上に、市立幼稚園として実践・研究等を通して寄与します。
 - ◎公私幼保における幼児期の教育と小学校教育との連携・接続を推進します。

重点事業6 特色ある高校教育・高専教育の推進

- ・市立高等学校において、人間として調和のとれた育成を目指しながら、一人一人の希望する進路実現に向けた確かな学力・技能等を培い、生きる力を育みます。
- ・市立工業高等専門学校では、市立の唯一の工学系高等教育機関として専門性の高い時代に適合する技術者の育成と地域社会への貢献を推進します。

方向性

- ◎市立高校において、各校の創意工夫を生かした魅力・特色づくりを推進し、一人一人の生きる力の育成につなげます。
- ◎市立高校各校間等のネットワークを強化することで、特色を生かした教育の振興を推進します。
- ◎時代の変化に対応した高専の教育内容の充実を図ります。
- ◎高専において、地域の産業への技術的な貢献及び理科教育など小中学校との連携を進めます。

重点事業7 神戸の国際教育・防災教育のさらなる推進

- ・地球規模で人や情報が行き交うグローバル社会の進展を踏まえ、英語教育、国際理解教育・多文化共生教育を進めます。
- ・防災教育を通じ、自らのかけがえのない命を守るとともに、災害を他人事にとらえず、被災した人々の思いに寄り添えるような子供たちを育みます。

方向性

- ◎国際都市神戸として特色ある英語教育や国際交流等をさらに推進します。
- ◎阪神・淡路大震災の体験を継承し、震災を乗り越えていく過程で学んだ教訓を学校教育の中で生かします。

指標

計画の進捗を測る尺度の一つとして、重視すべき項目で、かつ数値化・具体化が可能なものについて指標を設定して、取組を推進します。

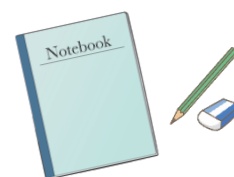
◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・「授業が分かる」児童生徒の割合
- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取組んでいたと思う」児童生徒の割合



◆基礎学力の定着

- ・全国学力・学習状況調査における正答率4割以下の層の割合（減少）
- ・全国学力・学習状況調査における記述問題の無解答率（減少）

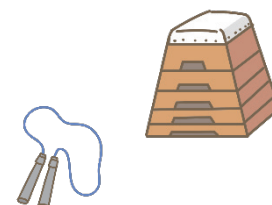


◆自己肯定感と教師の関わり

- ・「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合
- ・「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」児童生徒の割合

◆健やかな体の育成

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全34項目
- ・中学校部活動の活動内容満足度



◆特別支援教育の推進

- ・「個別の指導計画」や「学びの支援ネットワークプラン」の確実な引継ぎと活用
- ・通級指導教室の設置
- ・特別支援学校高等部知的障害部門卒業生就労率

基本政策2 安全・安心で楽しい学校を築き、地域と共に子供を支える

重点事業8 いじめを許さず生き生きと過ごせる学校生活の実現

いじめや不登校、児童虐待、非行等の問題に対し、子供たちの発達段階に応じた指導・支援を充実させ、有意義で興味深く希望に満ちた学校生活の実現を進めます。

- 方向性
- ◎「いじめを見逃さない学級・学校づくり」や「子供たちが生き生きとし、居場所のある学級・学校づくり」を推進します。
 - ◎いじめ防止対策推進法等の制度意義や趣旨を徹底し、神戸市いじめ指導三原則（するを許さず されるを責めず 第三者なし）を継続展開し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けて組織的な取り組みを推進します。
 - ◎不登校の児童生徒やその保護者への支援体制の充実を進めるとともに、いじめや不登校、友人関係などさまざまな悩みに応じる教育相談を推進します。
 - ◎事態の対応等において、児童生徒や保護者に寄り添いながら真摯に適切な対応を行います。

重点事業9 教職員の資質・能力の向上と学校の組織力の強化

・「神戸市の求める教員像」を念頭に、教育現場の第一線に立つ教職員の素養を磨き高めます。
①豊かな人間性あふれる教員 ②教育への意欲に満ちた教員 ③視野が広く対応力のある教員
④実践的指導力のある教員 ⑤自律心のある教員
・教育の公平性を確保し、複雑・多様化する教育課題に対応できる学校・事務局を構築し、子供の健やかな育成につなげます。

- 方向性
- ◎教育委員会が学校設置管理者としてのガバナンスを機能させ、学校運営に関し、適切な指導・支援を行います。
 - ◎神戸市教員育成指標に基づいた研修内容の充実やOJTの活性化を進めます。
 - ◎若手教員の指導や自主的な資質向上に対する支援を推進します。
 - ◎学校のマネジメント機能の強化や学校に対する支援を充実させるとともに、事務局組織の再構築や、コンプライアンス意識が醸成された職場環境の構築を進めます。

重点事業10 教育の質を高める教職員の働き方改革の推進

教職員が教育者としての誇り、自覚と使命感を持ち、心身ともに健康でいきいきとした姿で子供の前に立つとともに、自分の時間を有効に活用し、日常社会での経験・研鑽によって幅広い人間性を身につけることで、教育全体の質を高め、子供の健やかな育成につなげます。

- 方向性
- 新学習指導要領を着実に実施していくために、教職員自身が授業改善をはじめとする「教育の質の向上」に取り組むとともに、日常社会での幅広い経験・研鑽を通じた「人間力の向上」が求められていることを踏まえ、以下の取組を進めます。
 - ◎学校園の組織力の充実に取り組みます。 ◎学校園業務の適正化を進めます。
 - ◎教職員の事務負担等を軽減します。 ◎教職員の勤務環境を改善します。
 - ◎学校園現場における意識改革と人材育成を進めます。

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

子供たちが安全に安心して、快適な学校園生活を送ることができるよう、質の高い教育環境づくりを推進します。

- 方向性
- ◎学校の小規模化や過密化、校舎の老朽化等、教育環境の諸課題に対応するため、学校の再編や新設、校舎の長寿命化改修・増改築等の環境改善に取り組みます。
 - ◎トイレの洋式化改修や特別教室・体育館の空調整備等、学校施設の機能向上・異常高温対

策に取り組みます。

- ◎「学校の新しい生活様式」に基づき行動変容を進め、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を図る等、子供たちの健康保持と健やかな学びの機会の確保に取り組みます。
- ◎学校事故対応を強化するとともに、登下校や外出時の安全・安心の確保を推進します。

重点事業12 ICTの基盤整備と利活用の促進

- ・学校教育におけるICTの利活用により、児童生徒の情報活用能力や学力の向上につなげます。
- ・校務のICT化により、教職員が子供たちと向き合える時間を確保する等、教育の質の向上につなげます。

方向性

- ◎大型提示装置（電子黒板機能付プロジェクタ等）や実物投影機、無線LAN等、学校のICT環境を整備します。
- ◎授業改善や学びの保障の観点において効果的なICT活用を推進します。
- ◎校務のICT化を促進し、教職員の負担を軽減します。

重点事業13 地域と学校との協働による社会に開かれた教育の実現

「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会とが共有し、社会との連携・協働によりその実現を図るとする、学習指導要領の理念を踏まえ、地域と学校間におけるさまざまな取組を推進し、子供の健やかな育成につなげます。

方向性

- ◎地域に開かれ信頼される学校づくりを推進するとともに、地域との協働による学校教育の充実を進めます。
- ◎子供の健全育成に向けた家庭と学校の連帯や、地域の協力をもとにした児童生徒の安全・安心の確保を進めます。
- ◎家庭・地域との連携によるキャリア教育を充実させます。
- ◎学校を支援する人材の育成、教員志望者の育成を進めます。

重点事業14 地域に活かし・つながる社会教育の充実

一人一人が生涯にわたって学びきっかけづくりを推進し、能力を発揮して人と人がつながる社会を目指し、豊かな創造性を備えた持続可能な社会づくりの担い手を地域で育むとともに、学びの成果を社会に還元します。

方向性

- ◎生涯の「学ぶ」機会の充実や、地域に還元する「活かす」学習活動の支援を進めます。
- ◎新しい社会の力の創造に資する「つながり」を促進します。
- ◎地域交流やコミュニティ活動の場の充実を進めます。

指標

◆学校の組織力強化

- ・総務・学習指導担当の小学校配置
- ・教頭等の業務を補助するスタッフの配置

◆働き方改革の推進

- ・超過勤務時間（減少）
- ・多忙感の改善を実感する教職員

◆ICT学習環境の整備・活用

- ・全普通教室への大型提示装置（電子黒板機能付プロジェクタ等）・無線LAN整備率
- ・小・中学校、特別支援学校（小・中学部）に通う児童生徒へのPC（タブレット）整備率



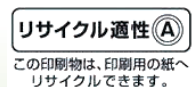


United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008



神戸市教育委員会 令和2年7月策定
神戸市広報印刷物登録 令和2年度第267号
(広報印刷物規格 A-1類)